

計画の推進

最後に、計画の推進について、申し上げます。

まず、開かれた市政の推進につきましては、市政だよりやホームページ、スマートフォン用地域情報配信アプリ、メールマガジン、またCATVテレビや新たに始まったコミュニティFM放送などを複合的に活用し、行政情報が市民の皆様確実に伝わるよう、積極的な情報発信に努めてまいります。

また、新居浜市シティブランド戦略に基づき、首都圏等での新たなシティプロモーション活動や転入者等を対象としたウェルカム事業をはじめとする様々な「Hello! NEW」プロジェクトをスタートさせることにより、新居浜市民の誇りと愛着を高めるとともに、新居浜市の知名度・認知度の向上に努めてまいります。

さらに、市民目線の市政を推進するため、政策懇談会を引き続き実施するとともに、年代・職業別市政懇談会を実施し、幅広い市民の皆様からのご意見を市政に反映してまいります。

次に、効果効率的な自治体経営の推進につきましては、平成28年度を初年度とする「新居浜市行政改革大綱2016」に基づき、権限、財源、人間の3ゲンの強化を改革の視点として、「市民の笑顔輝く市役所づくり」を目指し、組織の効率化と職員の人材育成を図ってまいります。

次に、健全財政の維持のため、歳入準拠の予算編成に努め、健全財政の維持及び公正な市政運営の推進に繋げてまいります。

さらに、市税徴収率の向上のため、徴収業務の充実・強化を図るとともに、給与、年金、預貯金などの早めの差押えによる滞納処分、並びに「愛媛地方税滞納整理機構」との連携強化を図ってまいります。

また、施設の長寿命化と更新費用の平準化による財政負担の軽減を図るため、「新居浜市アセットマネジメント推進基本方針」に基づき、施設保全計画の策定、予防保全工事の実施に取り組んでまいります。

次に、広域行政につきましては、新居浜市、西条市、四国中央市のものづくり3市連携をより強固なものとするため、3市圏域の愛称を用いた積極的な情報発信、3市合同での移住フェア出展による首都圏等でのPR活動に加えて、平成31年度に予定されている東予東部圏域振興イベントの開催に向け、機運を高めながら具体的な連携方策の在り方について協議・検討を進め、さらなる圏域全体の持続的な発展につながる取組みを推進してまいります。

次に、情報通信技術（ICT）の利活用と市民サービスの向上につきましては、既存アプリを活用し、母子健康手帳と併用し、スマートフォン等で子供の健康や成長を記録するとともに、子育てに必要な情報を提供する「母子健康手帳ICT」事業を実施いたします。

また、公正で透明性の高い入札、契約事務を推進するため、インターネットを利用した「えひめ電子入札共同システム」を引き続き活用するとともに、平成32年度からの電子入札完全実施に対応するため、平成30年度から電子入札管理システムの運用を開始いたします。

また、市民の公金納付の利便性の向上と事務の効率化を図るため、平成31年度からコンビニ収納科目をすべての市税及び国保料、保育料等に拡大するよう平成30年度からシステム改修等に取り組んでまいります。

さらに、各種証明書のコンビニ交付について、すでにコンビニ交付を実施している自治体の状況や、費用対効果等を精査しつつ、具体的な検討を進めてまいります。

以上、平成30年度の市政運営につきまして、私の基本的な考えと重要施策について申し上げます。